

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科等名		音楽		グループ名	1グループ
ねらい		・音楽活動を通して、豊かな表現力や集団の中での協調性を身に付ける。 ・リズム遊びや合奏などの音楽表現を行う中で、自己表現力を養い、その楽しさを味わう。 ・日本や諸外国の伝統音楽や楽器に触れ、音色や響きを感じて曲を聴いたり演奏したりする。			
担当教員		○高柳 彩子 歳内 文太 正司 一貴 上江洲 充 岸 みどり 甲斐 琢也 松永和也			
予定授業時数					
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 7	(器楽) ・音を合わせて、演奏しよう。	○	・打楽器演奏 ・タブレット端末を使った演奏	・自分のパートや仲間の音を意識しながら演奏できる。	・映像資料を使用し、視覚的にもリズムを感じられるようにする。
	(歌唱) ・春を歌おう		・校歌 ・共通教材の歌唱	・曲の拍子やリズムを味わいながら、表現に参加できる。	・歌詞や曲の雰囲気イメージできるように、写真や動画などを使用する。
	(身体表現) ・音楽に合わせて、身体を動かそう		・ダンス ・指揮	・曲のリズムやテンポを感じながら、表現できる。	・繰り返し練習し、自信をもって表現できるようにする。
	(鑑賞) ・好きな曲を知ろう	○	・仲間の好きな楽曲の鑑賞	・仲間のことを知り、また音楽表現の幅広さに興味・関心をもつことができる。	・自身が紹介したい曲を共有する。
9 12.	(器楽・身体表現) ・幅広く音楽を楽しもう		・様々な楽器を使った合奏・様々なジャンルの音楽を使ったダンス ・タブレット端末を使った演奏	・仲間と表現することに対する意識を高め、達成感を味わうことができる。	・各パート毎にわかりやすい楽譜を作成して活用する。
	(歌唱) ・それぞれの表現を大切に歌おう。		・それぞれの発声や表現を大切にした歌唱 ・手話歌	・旋律や仲間の声や手話を意識して歌うことができる。	・歌詞や曲の雰囲気イメージできるように、写真や動画などを使用する。
	(鑑賞) ・様々なジャンルの音楽表現	○	・合奏やダンスに関連した鑑賞など	・それぞれの音楽的に興味関心をもって鑑賞することができる。	・楽曲の解説を行い、楽曲の違いや良さに気付くようにする。
1 3	(器楽) ・打楽器、鍵盤楽器を楽しもう		・打楽器、鍵盤楽器を使った演奏 ・タブレット端末を使った演奏	・曲の流れや雰囲気を感じ取りながら、練習や演奏に取り組むことができる。	・各パート毎に分かりやすい楽譜を作成して活用する。
	(歌唱) ・楽曲を豊かに表現しよう		・季節や行事にちなんだ歌唱	・歌詞や強弱、発声の仕方を意識して表現できる。	・歌詞や曲の雰囲気イメージできるように、写真や動画などを使用する。
	(身体表現) ・世界の音楽に親しもう		・音楽ジャンルのリズムに合わせた身体表現	・リズムに合った動きを意識して表現できる	・親しみやすいリズムの楽曲を選ぶようにする。
	(鑑賞) ・表現の違いを感じよう	○	・オペラやミュージカルなどの鑑賞	・様々な演奏形態、使用楽器、表現方法の違いを知ることができる。	・様々な演奏形態の表現を鑑賞し、表現の違いを感じられるようにする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。

令和7年度七生特別支援学校年間指導計画

学 部		高等部		学 年	1年
教科等名		音楽		グループ名	2グループ
ねらい		・音楽活動を通して、豊かな表現力や集団の中での協調性を身に付ける。 ・リズム遊びや合奏などの音楽表現を行う中で、自己表現力を養い、その楽しさを味わう。 ・日本や諸外国の伝統音楽や楽器に触れ、親しむ態度を養う。			
担当教員		○中村 妙 廣野 あやめ 村田 昭子 三宅 千恵			
予定授業時数		70			
使用教科書					
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	(器楽) ・拍やリズムを表現しよう		・打楽器演奏 ・鍵盤演奏演奏	・楽譜の見方を知り、自分のパートを演奏できる。	・個々に応じた楽譜を用意する。
	(歌唱) ・日本の歌を歌おう		・共通教材等の歌唱 ・国歌や校歌の歌唱	・曲の旋律や歌詞、拍子について知り、歌唱で表現することができる。	・歌詞を読み、歌詞の意味を考えたり、拍子など曲の特徴について考える。
	(身体表現) ・拍やリズムを感じよう		・ボディーパーカッション、ダンス、手話歌など	・拍子やリズムパターンを識別して、身体で表現することができる。	・親しみやすいリズムの楽曲を選ぶようにする。
	(鑑賞) ・好きな曲を知ろう	○	・仲間の好きな楽曲の鑑賞	・仲間のことを知り、また音楽表現の幅広さを知ることができる。	・楽曲についておすすめポイントを考える。
9 10 11 12	(器楽・身体表現) ・様々なジャンルの音楽に触れよう		・様々な楽器を使った合奏	・曲想やリズムの特徴を感じ取りながら、主体的に表現することができる。	・実態に応じた楽譜を作成する。
	(歌唱) ・声の音色や響きを感じよう		・それぞれの発声や表現を大切にした歌唱	・自分の声の音色や響きを感じながら、仲間と合わせて歌うことを楽しむことができる。	・響きを楽しめる楽曲を選曲する。
	(鑑賞) ・様々な表現方法を知ろう	○	・合奏やダンスに関連した鑑賞など	・曲名・表現方法など、音楽的な特徴を知ることができる。	・解説を行い、より特徴を意識できるようにする。
1 2 3	(器楽) ・音の音色や響きを感じよう		・打楽器、鍵盤楽器を使った演奏	・パート練習に取り組み、自信をもって演奏することができる。	・実態に応じた楽譜を作成する。
	(歌唱) ・楽曲を豊かに表現しよう		・季節や行事にちなんだ歌唱	・歌詞の意味を理解しながら、気持ちを込めて歌唱することができる。	・強弱やテンポ等アドバンスし、繰り返し練習する。
	(身体表現) ・音楽にのって、リズムやテンポを表現しよう		・音楽ジャンルのリズムに合わせた身体表現	・リズムやテンポを感じながら表現できる。	・親しみやすいリズムの楽曲を選ぶようにする。
	(鑑賞) ・諸外国の楽器や音楽に触れよう	○	・オペラやミュージカルなどの鑑賞	・諸外国の楽器や演奏形態について学び、音色に親しむことができる。	・映像資料やワークシートを使用し、理解を深める。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。